

水素保安戦略の実現に向けた JH2Aの取り組み

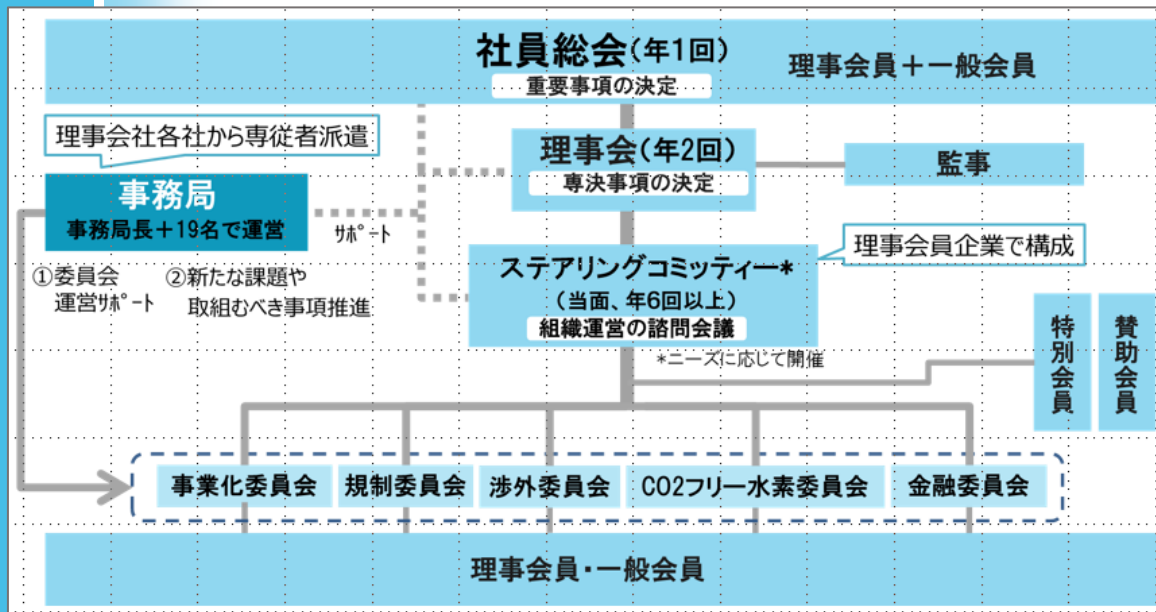


JAPAN
HYDROGEN
ASSOCIATION

2023年2月27日

①科学的データ等の戦略的獲得と共有領域に関するデータ等の共有 (第3章第1節 1.)

- ・事業化、規制、CO2フリー等の委員会と、その下のWG、SWG活動を通じて、**科学的情報を収集、共有**している。
- ・集約した情報は、**ウェブサイト**を通じ発信、アップデートすることで、関係者の知見の充実と最新化を図っている。
- ・ポイントとなるテーマについては、**1回/月(3～4件/回)の会員セミナー**を開催して共有。
- ・今後は、JH2A自身が**主体となって**、科学的データの獲得を図る**プロジェクトを創生**していく。



【JH2A体制図】

セミナー

2023.02.21 12:05

JH2A水素フォーラムにてセミナーを開催します

【日時】 3/16(木)10:00~12:00、13:30~17:20 【場所】 パナソニックセンター東京、Web(Teams) 【テーマ】 <セッション I> 10:00~12:00 「JH2A委員会活動を一挙公開」 <セッション II> 13:30~17:20 「JH2A海外連携セミナー」

2023.02.21 12:00

第16回JH2A会員セミナーを開催しました

【日時】 2/21(火)10:00~12:00 【場所】 Web(Teams) 【テーマ】 ①「水素バリューチェーン構築に向けたJBICの支援」 国際協力銀行様



【JH2Aウェブサイト】(会員セミナーの案内)

<https://www.japanh2association.jp/>

②今後の道筋の明確化（第3章第2節2.）

- ・開発→実証→大規模実証→本格事業といった事業化の各フェーズに合わせ、最速手段による規制対応を行う。
- ・長期的な保安体系の構築は、事業者の商用化進捗状況や、海外動向を常に把握し、規制が商用化のボトルネックとならないように、また国際競争力で劣後することないよう、一手先の合理的提案を行う。

③リスクコミュニケーション（第3章第3節 1.）

- ・消費者目線での認知度向上を目指し、お声掛けいただいたイベントでのプレゼンをはじめ、JH2A水素フォーラム(今年度は3月16～17日)を企画し、産学官民 幅広い対象への理解度向上を図っている。
- ・引き続き活動の幅と種類を広げていく。



【イベントでの講演】

④人材育成（第3章第3節2.）

- これからの水素社会を担う若手のボトムアップを図るため、若手座談会を開催。自らの専門分野以外の仲間づくりと、サプライチェーン全体の課題を理解することで、多角的な事業企画が行える人材を育成。
- 活動を継続するとともに、常に水素と人財の未来を見据えた企画を創出していく。
- なお、JH2Aには多数のアカデミアにも参加いただいている。



【若手座談会】

⑤各国動向の把握、規制の調和、国際規格の策定に向けた取組（第3章第3節3.）

- 国内団体との連携はもとより、海外の水素団体とも積極的に連携している(スペイン・ニュージーランド・韓国の関連団体とはMOU締結)。
- 現地の最新情報を得て、世界のトレンドを理解し、日本をガラパゴス化させない競争力ある活動に繋げる。
- 今後は、連携をより具体的なものへと深化させると共にISO等の規制・規格関連の国際議論への参画も積極的に進める。



【各国関連団体とのMOU締結】

